

2022 第43回北信越中学校総合競技大会 新型コロナウイルス感染症予防対策〈ソフトボール競技〉 (大会実施のためのガイドライン)

大会開催・実施時の具体的な感染防止策について

【大会参加生徒・大会関係者・観戦者共通】

(1)「第43回北信越中学校総合競技大会実施上の新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」(R4北信越中学校体育連盟.R4.6.30改訂版)に従って以下の手順で手続きを行い大会に参加する。

【大会会場への入場について】

大会会場内に入場できるのは以下の項目に該当する方のみとする。

- ①大会参加生徒、監督、コーチ、引率責任者
- ②大会役員
- ③観戦者(入場制限は行わない)

- ア 大会参加生徒は「同意書(別紙5)」を学校に提出する。保護者の押印が必要。学校長が「同意書(別紙5)」を確認し、大会申込書に押印し、各事務局に提出する。「同意書(別紙5)」は学校で保管する。
- イ ①に該当する方は事前に「体調記録表(別紙1)」を記入し、顧問に提出する。また、「行動履歴書(別紙4)」も記入する。別紙4は各自保管する。
- ウ 各校顧問は、回収した「体調記録表(別紙1)」の内容を「学校同行者体調記録表(別紙2)」に取りまとめ、当日の朝に受付へ提出する。「体調記録表(別紙1)」は各顧問が保管する。
- エ 各顧問は「体調記録表(別紙1)」の記載内容を提出前に確認し、選手等の健康状態について判断に迷う場合は、大会本部、救護担当者に相談する。
- オ 各顧問は、日々生徒の体調を確認し、出場自粛等があれば、各県の競技専門部に連絡し、各競技専門部は各県事務局に連絡をする。
- カ ②の方は、「体調記録表(別紙1)」「行動履歴書(別紙4)」を記入し、各自保管する。受付時には、「来場者体調記録表(別紙3)」を提出する。
- キ ③に該当する方は、事前に「来場者体調記録表(別紙3)」と「行動履歴書(別紙4)」を記入し、別紙3の方は入場時に受付へ提出する。別紙4は各自保管する。
- ク 「行動履歴書(別紙4)」の保管は大会終了後1ヶ月程度とする。

- (2)「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)におけるソフトボール活動の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(公益財団法人日本ソフトボール協会.R4.5.19更新)に準じる。
- (3)熱中症(暑さ)に十分配慮した上で、会場内ではマスクを着用することを原則とする。(試合出場時を除く。)
- (4)こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。消毒液等は競技部でも準備するが、可能な限り参加校、個人でも準備する。
- (5)大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症の発症が確認された場合は、自県の委員長に速やかに報告すること。また、主催者に対しても速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

【大会参加生徒】

- (1) 大会・試合の前後のミーティングは、三つの密を避ける。会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮する。
- (2) 熱中症（暑さ）に十分配慮した上で、試合中でもプレー中の選手以外はマスクを着用することを原則とすること。（アップ中の生徒は含まない）
※試合に出場している選手でも、ベンチ内ではマスクを着用する。
※「新型コロナウイルス感染症対策の基本対処方針」（文部科学省.R4.5.23発出）に基づき、
身体的距離（2m以上を目安）が確保できる場合にはマスクを着用する必要はない。
- (3) 石鹸での手洗いを励行した上で、アルコール等で、会場入り口、練習前・後、試合前・中・後等々に手指の消毒を行うこと。
- (4) 手拭き、汗拭き等のタオルは共用しない。また、飲料水についても同様にする。
- (5) 大会終了後（試合間やタイムアウト時）は、使用した場所、用具・器具等の消毒を協力して実施すること。（消毒グッズ準備）
- (6) 握手、ハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体的接触を避ける。
- (7) グラウンドレベルでの円陣は避ける。
- (8) 声を揃えての応援、歌、円陣は避ける。
- (9) 試合開始時の整列及び礼は、球審の集合準備の合図で両チームがベンチ前に整列し、その場で礼をして行う。試合終了時も同様の形態とする
- (10) 試合や生徒役員の終わった選手（チーム）から帰る。

【大会関係者】

- (1) 本部席、競技役員席等の密集を避ける。前後左右それぞれ1 m以上の間隔を空ける。
- (2) 大会関係者はネームプレートを着用する。

【観戦者】

- (1) 観戦者の入場制限は行わない。ただし、受付の確認としてリストバンドを配布するので、必ず着用する。
- (2) 指定されたエリアでの応援とし、自チームの試合が終わり次第エリア外に出ることとする。
- (3) 観戦者とベンチ入りしない部員は、次の三点を徹底する。
 - ア 指定されたエリアで、ソーシャルディスタンス（2m程度）を確保する。
 - イ 大声を発する応援を行わない。（拍手のみ等）
 - ウ 適切な感染防止対策、熱中症予防対策（手指の消毒、マスクの脱着等）を行う。

【その他】

- (1) 感染対策と共に熱中症リスクにも備えること。特にマスク着用者へはこまめな水分補給を促す。
- (2) 代表者会議は必ず実施し、感染症対策・熱中症対策について厳に徹底する。
- (3) 食事中は会話を控え、また向かい合っでの食事は控える。
- (4) 感染者発生時における追跡・調査を可能とするために提出された書面については、個人情報として保管し1ヶ月を目途に適切な方法で廃棄する。